

国際スポーツ大会等の誘致・開催に 対する支援等について

九州・山口地域においては、大規模国際スポーツ大会等の誘致が相次いでおり、本年は、世界3大スポーツイベントの1つとされるラグビーワールドカップが福岡県、熊本県、大分県で開催され、世界中から多くの観戦客等が来訪したところである。そして、今月末には熊本県での2019女子ハンドボール世界選手権大会、2020年には東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に伴うキャンプ受入れ、2021年には福岡県で世界水泳選手権大会等が開催され、国内外からのスポーツ観戦客や大会関係者をはじめ、マスコミ、長期滞在観光客等の益々の増加が期待されている。

こうした、国際スポーツ大会の開催やキャンプの受入れ等は、地域の魅力発信、地域経済浮揚の好機であることから、訪日外国人旅行者や大会関係者の受入準備はもとより、さらなるインバウンド需要の取込みや広域周遊観光の促進、国際交流の活性化、スポーツツーリズム等の取組を官民一体となって着実に進めているところである。

国においては、これら地方の取組を後押しし、課題解決を図るとともに、九州・山口各県が取り組む今後の国際スポーツ大会誘致の実現やレガシーの継承、スポーツツーリズムの推進等に向けて、以下の項目について適切な措置を講ずるよう強く求める。

1 訪日外国人旅行者や大会関係者等の受入れ環境の充実

訪日外国人旅行者やアスリート等大会関係者などの増加に対応するため、入国審査の迅速化や標識の多言語化、キャッシュレス対応の促進、災害時の安心安全の確保等、受入環境の整備や観光の魅力向上に向けた地方の取組を支援するとともに、国においても諸課題の解決に向けた取組を一層充実・強化すること。

2 さらなる国際スポーツ大会誘致と競技普及の促進

大規模国際スポーツ大会の開催やスポーツツーリズムの推進により、地域経済の活性化をはじめ、住民の地域への誇りや愛着につなげるため、さらなる大会誘致を進めることが重要である。

そのため、今後の大会誘致に向けて地方が行う施設整備・改修やキャンプ誘致、競技普及に向けた取組について継続的に支援を行うこと。

令和元年11月

九州地方知事会長

大分県知事 広瀬 勝貞